



四国ブロック



発行人：阿波谷, 大原, 板東, 川本, 澤田
事務局 〒761-2103
香川県綾歌郡綾川町陶 1720-1
綾川町国民健康保険陶病院気付
副支部長/事務局長 大原昌樹・森田宛
Tel. 087-876-1185 Fax. 087-876-3795
E-mail oharamasaki@gmail.com

★1 進撃の四国ブロック支部 ～後期研修編

四国ブロック支部長 阿波谷 敏英

四国ブロック支部の会員数は約 420 人で、本学会の中では最も規模の小さい支部です。当然、専門医の数も多くありません。学会のウェブサイトで公開されている家庭医療専門医の数は全国 673 人のうち四国ブロック支部は 12 人です (2017 年 10 月末現在)。学会全体の会員医師数は 1 万人あまりですので、全国平均並みですと四国ブロック支部には現在の倍以上の専門医がいてもおかしくないことになります。このような低迷の原因は、四国ブロック支部に十分な質と量の後期研修プログラムが存在していなかったことにあります。

この状況を打開するべく、ここ数年、四国ブロック支部は一丸となって専門医の育成に努力して来ました。2013 年度には地方会の一部として初めてポートフォリオ発表会を開催しました。この時点で、四国ブロック支部全体では、8 つのプログラムに 10 人の専攻医という状況でした。その後、ポートフォリオ発表会は地方会と年度末の 2 回開催することとしています。専攻医の学びになっていることはもちろんですが、指導医の学び、プログラムを超えての専攻医同士、指導医との交流の場にもなっています。2017 年度には地方会に併せて専攻医オリエンテーションを初めて開催し、大好評でした。

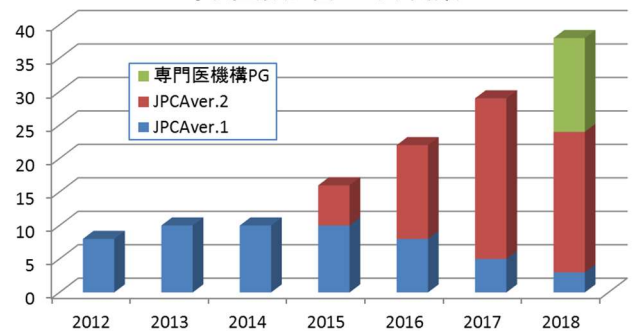
右に四国ブロック支部の後期研修プログラムの数を示します。2014 年度から Ver. 2、2018 年度から専門医機構プログラムが加わり、5 年間で 5 倍近くになりました。

また、専攻医の数は、この 5 年で 4 倍近くになりました。このような目に見える躍進は、社会全体の総合診療に対する期待という追い風もありますが、後期研修プログラム責任者の会代表を務めていただいている原穂高先生以下、各プログラム責任者、指導医の先生方のご努力の賜物です。もちろん、専攻医が活躍することで、後輩の研修医・学生のおよきロールモデルとなりプラスに作用していることも間違いありません。四国ブロック支部長として大変有難く思っています。

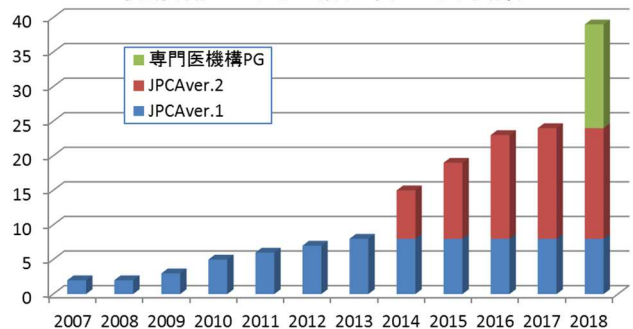
さて、2018 年度からは、日本専門医機構認定の総合診療専門研修が開始されます。日本専門医機構の資料によると 19 の基本領域専攻医の総計が全国で 8,394 人、四国で 239 人です。そのうち総合診療の専攻医は全国で 184 人、四国で 14 人ですので、全専攻医の中に占める割合は、全国 2.2%、四国 5.6% です。都市部のプログラムが抑制された影響もありますが、それにしても四国は全国平均の 2.5 倍です！ もはや後進県ではありません。

「総合診療専門医になるんだったら四国が良いよね♪」と医学生、研修医に言われる日を夢見て、皆さまと益々頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひします。

専攻医数(四国ブロック支部)



後期研修プログラム数(四国ブロック支部)



★2 高知家総合診療専門研修プログラムキックオフセレモニー

プログラム事務局 阿波谷 敏英

2018年4月から、総合診療専門医の研修が開始されました。

高知県では、総合診療医の養成に意欲のある医療機関の関係者が集まり、2015年7月より協議を重ねて来ました。その結果、基幹的な医療機関を中心に複数のプログラムを作成するのではなく、全医療機関を包含する1つの大きなプログラムとして申請することとなりました。1つのプログラムにすることで、各医療機関の事務負担の軽減、教育リソースの共有、指導医の按分の必要が無いこと、専攻医0のプログラムを作らないこと、など運営面のメリットがあります。また、専攻医にとっては多彩な施設で自由度の高い研修が可能ということも大きな魅力です。さらに、研修期間中は一般社団法人高知医療再生機構の職員とし、各施設には派遣もしくは在籍出向とすることで、施設が変わるごとに退職、就職を繰り返す必要がないというのも画期的です。

プログラム名に冠する「高知家」というのは、観光、移住、産業などの振興を目指す高知県のプロモーション活動のスローガンです。「高知県は、ひとつの大家族やき」というキャッチフレーズの示すとおり、県下32医療機関が公立、民間を問わず参加し、高知大学が事務局を担い、一般社団法人高知医療再生機構、高知県の強力な支援を受けています。



2018年度に研修を開始した専攻医は5人で、すでに、高知医療センター、県立幡多けんみん病院、県立あき総合病院で活躍しています。彼らの門出を祝うべく、2018年4月19日、キックオフセレモニーを開催しました。約90人の参加があり、大変盛況なセレモニーとなりました。

まず、北海道家庭医療センター理事長の草場鉄周先生に「総合診療専門医について」と題して講演していただきました。総合診療専門医の役割について、わかりやすくお話いただいた他、歴史的な経緯についても解説いただきました。日本の医療における総合診療の必要性を明快に示していただき、「確かな臨床能力」と「健全なアイデンティティ」を具備した総合診療専門医が活躍する未来がイメージできました。専攻医はもちろん、参加していた研修医、医学生にも大きな刺激になりました。

高知家総合診療専門研修プログラム
Kick Off Ceremony

いよいよ新専門医制度のスタートです
高知家総合診療専門研修プログラムでは
5名の専攻医が総合診療専門医を目指します
専攻医の門出を祝い、高知県の地域医療の明るい未来を
願って、キックオフ・セレモニーを開催いたします
研修医・医学生の皆さんも是非、ご参加ください

プログラム統括責任者 瀬尾宏美 (高知大学)

講演 **草場鉄周** 北海道家庭医療学センター理事長
祝辞 **尾崎正直** 高知県知事

● 2018年4月19日(木)
19:00 - 21:30

● 高知市文化プラザ かるぼーと
2Fホール

● 参加費 3,000円 (懇親会あり)
初期研修医 1,000円 医学生 0円

問合せ・申し込み
事務局 (高知大学医学部 家庭医療学講座)
089-880-2761
kochisogogp@gmail.com

高知大学医学部附属病院・高知医療再生機構・高知県



次に、プログラム統括責任者の瀬尾宏美教授 (高知大学) より、挨拶がありました。数年かけて総合診療の養成に取り組んできた経緯についての説明と、専攻医とともにプログラムも成長できるように関係者が一丸となって努力する決意が示されました。来賓の尾崎正直高知県知事からは、高知県の地域包括ケアシステムの中心的な役割を担う医師として総合診療専門医に大いに期待していると専攻医にエールを送っていただきました。

最後に、専攻医5人から、それぞれに総合診療を目指すことになった経緯や今後の目標などを語ってもらいました。初期臨床研修の中で急性期病院から地域に帰っていった患者さんがその後どうなったのか疑問に思っ

た。最後に、専攻医5人から、それぞれに総合診療を目指すことになった経緯や今後の目標などを語ってもらいました。初期臨床研修の中で急性期病院から地域に帰っていった患者さんがその後どうなったのか疑問に思っ



たり、自身の出身地に対する想いであったり、患者さんの生活を含めたケアの重要性に気がついたことなど、それぞれの専攻医のスピーチはとても説得力がありました。多くの関係者が専攻医を応援する気持ちになり、とても和やかな雰囲気です。セレモニーを終えることができました。

★3 第18回愛媛プライマリ・ケア研究会開催(2018年6月30日)

愛媛大学大学院医学系研究科 地域医療学講座 (愛媛) 川本 龍一

愛媛大学大学院社会医学コースフォーラムをかねて開催予定です。学生や研修医、一般臨床による一般演題6題(16:00-17:30)ぐらいの後、特別講演1(17:30-18:00):生活習慣病の話、特別講演2(18:00-19:00):プライマリ・ケア関係の話を用意しています。

日時:2018年7月30日(土曜)16時~20時頃

場所:ひめぎんホール「多目的室」

【特別講演】「総合診療医の育成に向けた取り組み~卒前教育から新専門医制度への展開~」

国立大学法人徳島大学病院 総合診療部 教授 谷 憲治 先生

★4 平成30年度第1回四国ブロック支部役員会を開催

四国ブロック支部事務局長・副支部長 大原 昌樹

日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部役員会が、平成30年4月25日(水)19時から、愛媛県四国中央市ホテルグランフォーレで開催されました。平日夜にも関わらず、四国全域から役員22名の参加がありました。

支部長の阿波谷敏英先生(高知)の挨拶の後、今回、役員交代があったため、自己紹介と近況報告が行われました。この中で全国理事の西村真紀先生(高知)が関東甲信越ブロックに5月から異動されるという参加者が一瞬凍り付く報告もありました。第8回全国大会in四国でも



いろいろなアイデアを出していただき本当にお世話になった存在だったので残念ですが、今後も四国ブロックをできる限り応援したいという温かい発言をいただきました。今後のご活躍を期待したいと思います。

平成29年度決算ならびに事業報告、監査報告、平成30年度予算ならびに事業計画が説明され、承認されました。本部からの助成金は、支部運営に非常に役立っていますが、来年度から減額になります。昨年度の四

国ブロック支部地方会(高知)から地域医療振興協会に特別講演講師派遣部分の補助をいただきましたが、今後もこのようなことも考えていきたいと思っています。平成29年度は、高知大会がその他いろいろ工夫していただき開催費用を抑えていただいた関係で、第8回全国大会in四国で論文集増刷など費用が多くかかった部分を補うことができました。



第18回四国ブロック支部地方会は、11月17~18日徳島市で行われ、大会長の山口治隆先生(徳島大総合診療医学)から準備状況の報告と協力依頼がありました。今後、案内状を作成し、7~8月頃、論

文集と合わせて発送することになります。

家庭医療専門医、総合診療専門医については、阿波谷支部長からの報告（本ニュースレター掲載）とともに、原副支部長（愛媛）からポートフォリオ発表会、専攻医オリエンテーション、指導医講習会の開催計画の説明があり、意見交換しました。発表会は、地方会の中で1回と別にもう1回開催で了承されました。

板東副支部長からは、ニュースレターと四国ブロック支部論文集No11の協力依頼がありました。ニュースレターの記事については、支部メーリングリストを活用して各地の情報を掲載してもらうこととしました。

その他、全国大会から始まった四国ブロック支部功労賞について、今年度、第2回を選考することとなり、選考方法は支部長一任としました。



★5 第21回徳島地域医療教育研究会／第2回徳島総診フォーラム合同開催

徳島大学病院総合診療部 谷 憲治

平成30年2月24日（土）、徳島大学総合診療医学分野・総合診療部主催で、徳島市内のホテルで、第21回徳島地域医療教育研究会／第2回徳島総診フォーラムを合同開催の形で開催しました。この会は徳島大学に地域医療教育関連の講座が誕生した10年前から開催しており、地域医療に関心を持つ医学生と地域医療において診療と教育に関わる医師が参加し、様々な学びの場であるとともにお互いの親睦や交流の場にもなっています。

今回は、医学生28名、研修医5名、医師17名、総数50名が参加し、特別講演には岡山済生会総合病院リウマチ・膠原病センター長の山村昌弘先生をお招きし、「不明熱の診断 造反有理」のタイトルで行われました。平成29年は徳島大学病院に総合診療部が新設され、我々病院総合診療部・総合診療医学分野の教室員が診療を担当しており、平成30年度には病棟診療も開始する予定です。

平成30年度から始まる新専門医制度においては徳島大学病院が基幹施設となる総合診療専門研修プログラムである「徳島大学AWA広域総合診療専門研修プログラム」に2名の専攻医が所属して専門研修を開始しております。これからは大学病院総合診療部が核となって総合診療専門医を目指す専攻医教育に関わってまいります。このように徳島県内における総合診療に関する注目が高まる中、今回の不明熱をテーマにした講演会は、大変タイムリーな内容となりました。



★7 日本 PC 連合学会四国ブロック支部 家庭医療専門研修/総合診療専門研修 オリエンテーション 2018 & 第4回ポートフォリオ検討会 in Ehime を開催

愛媛生協病院 原 穂高

愛媛大学大学院医学系研究科 地域医療学講座 川本 龍一

日本 PC 連合学会四国ブロック支部 家庭医療専門研修/総合診療専門研修 オリエンテーション 2018 & 第4回ポートフォリオ検討会 in Ehime が、2018年5月19(土曜)14時~18時、愛媛県立中央病院管理棟1階講堂で開催されました。

この企画を開催することはあらかじめ決まっていたのですが、日時や場所の決定がひと月前になったこともあり、参加者数はうまくいっても20人くらいと思っておりましたが、あけてびっくり総勢33人の参加と大盛況でした！内訳は新専攻医9人、2年目以上の専攻医5人、指導医その他で17人です。

研修の概要の説明・研修手帳のつかいかた：担当(原) Ver2.0の手帳コピーを用いて説明

専攻医部会のお知らせ：担当(水本先生) 専攻医部会の紹介

グループディスカッション：担当(長谷川先生) アイスブレイクを導入に交流

ポートフォリオ TIPS：担当(長谷川先生) レクチャー

ポートフォリオ検討会：担当(河南先生) 専攻医の持ち寄ったポートフォリオになりそうなもやもやケースでグループディスカッション

開会のあいさつを忘れてしまったり、機器調整不備でパソコンの変更をしたりと前半どたばたしていましたが、後半から本命のポートフォリオの話題となり盛り上がり上がっていきました。

日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部
家庭医療専門研修/総合診療専門研修
オリエンテーション 2018&
第4回ポートフォリオ検討会 in Ehime

ポートフォリオ
ボンと研修が
おわりそうになってから
トリアーズ書くだけでなく
フォーマット通りに
議論に立ち返りながら書く
おれの成長記録

- ◆ 四国の家庭医/総合診療領域の専攻医と指導医が集まります。交流しながら専攻医はポートフォリオを作って早くチャンス！指導医は指導法も学べます。
- ◆ ポートフォリオ作成過程について指導医からアドバイスをもらいブラッシュアップする機会が得られます！
- ◆ 専攻医、指導医、研修医、医学生誰でも参加可能です
- ◆ 2018年5月19(土曜)14時~18時
愛媛県立中央病院管理棟1階講堂 (車をご利用の方は駐車券をお持ち下さい)
- ◆ 内容：レクチャー(総合診療研修の概要、研修手帳の使い方、ポートフォリオとは)、グループディスカッション、ポートフォリオ作成検討会
- ◆ 終了後18時30分一階懇話会(えんま二番町店 飲み放題付コース費用5-6000円)
- ◆ 申込方法：参加希望者は①氏名②所属③連絡先④懇話会の参加(要予約)⑤卒業年度をtew@tunagou41@gmail.com(長谷川)宛に2018年5月10日までにご連絡下さい
- ◆ 専攻医は持ち寄りのポートフォリオを持ってきて頂くことを強くオススメします！ポートフォリオはWordで作成(※印刷があれば印刷用紙も用意)で作りやすい状態で2018年5月10日までに上記のメールアドレスに添付ファイルを送信してください
- ◆ 作成の目安で選んだ症例を(個人を特定できない形で)記載した内容や全く作成が不明瞭で構いませんので書いての参加申し込みをお待ちしています。
- ◆ 主催：日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部



ポートフォリオ検討会では、専攻医が抱えるもやもやケースでグループディスカッションしました。ポートフォリオ指導経験のある指導医が少なかったため、中心のテーブルには指導医と専攻医たちが集まり教育的ディスカッションをしてもらい、指導医クラスの先生方にはその周りを取り囲んで観察してもらうという、金魚鉢方式をとりました。

閉会の挨拶は、川本先生に締めて頂きました。来年度も専攻医オリエンテーションを開催しますので専攻医、指導医に限らずみなさまの参加をお待ちしています。

★8 <第18回日本PC連合学会四国地方会/第25回四国地域医学研究会 合同学術集会>開催のご案内

大会長 山口 治隆 (徳島大学大学院総合診療医学分野)

来たる11月17, 18日に四国地方会を徳島県で開催させていただきます。会場は藤井節郎記念医科学センター(徳島大学蔵本キャンパス内)の1階ホールと2階多目的室です。

初日の前半は「総合診療のコア」を学生さんにもわかりやすく、また研修医や専攻医の先生、指導医の先生方にも学びを深めていただけるようなワークショップを予定いたします。

後半の特別講演では、今年4月に国立病院機構 徳島病院院長に就任された西野洋先生をお迎えします。西野先生は徳島大学第一内科より米国メイヨークリニックに留学された後、千葉県亀田総合病院の総合診療科部長、卒後教育委員長としてご活躍されました。多数の優秀な総合診療医・初期研修医を育成してこられた人望厚い指導者です。本会ではこれまでの臨床・教育経験をもとにご講演いただきます。

懇親会は、膝をつき合わせて語り合えるよう座敷の会場とさせていただきました。地方会会場から徒歩5分です。懇親会では同じ会場内の一角で「四国専攻医の集い(仮称)」も同時開催の予定です。みなさま奮ってご参加くださいませ。

2日目は例年通り、ポートフォリオ発表会を開催します。今年は2階多目的室にてポスター発表形式とさせていただきます。四国ブロックの専攻医の皆さんにはこの機会にお一人が1ポートフォリオをお書きいただけますと幸いです。続いての一般演題では演題を大募集いたしますので、後日の案内に沿ってご応募よろしくお願いたします。

閉会後には支部総会・支部役員会があります。同時に2階多目的室ではキャリアCafeを開催予定です。学生・研修医・専攻医の皆さんは先輩医師とご歓談いただければ幸いです。

<開催日程：平成30年11月17日(土) 14:00~18:00>

平成30年11月18日(日) 8:30~12:40

テーマ：「総合診療の魅力 再発見！」

会場：藤井節郎記念医科学センター(徳島大学 蔵本キャンパス内)

〒770-8503 徳島市蔵本町3丁目18番地の15

プログラム

1日目：平成30年11月17日(土)

- 14:00~14:10 開会
- 14:10~14:40 大会長講演
- 14:40~16:40 ワークショップ「総合診療のコア(仮題)」
(主な対象：医学生・研修医・専攻医)
- 17:00~18:00 特別講演(徳島病院院長 西野洋先生)
- 18:30~21:00 懇親会(ふじや蔵本本店：徳島市庄町1-22)

2日目：平成30年11月18日(日)

- 8:30~9:30 ポートフォリオ発表会
- 9:40~12:30 一般演題
- 12:30~12:40 次回開催県挨拶、閉会
- 12:40~ 日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部総会、および役員会
(各プログラムの開始・終了時刻は予定時刻となっております)

連絡先：徳島大学大学院医歯薬学研究部総合診療医学分野 山口治隆

電話：088-633-9656 e-mail：yharutaka@tokushima-u.ac.jp



藤井節郎記念医科学センター